

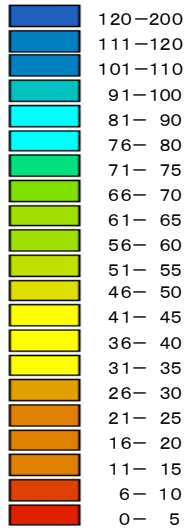
# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R6-12号)

令和6年9月27日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和6年9月26日に伊勢湾・三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

## 溶存酸素飽和度 (%)



愛知県水産試験場では、溶存酸素飽和度50%以下を低酸素、30%以下を貧酸素とし、その広がり範囲を貧酸素水塊と呼んでいます。溶存酸素飽和度 (%) と魚介類への影響の関係は、おおよそ以下のとおりです。

溶存酸素飽和度	魚介類への影響
50%	魚類・甲殻類に悪影響
30%	貝類・底生魚類の生存困難
10%	全ての底生生物の生存困難

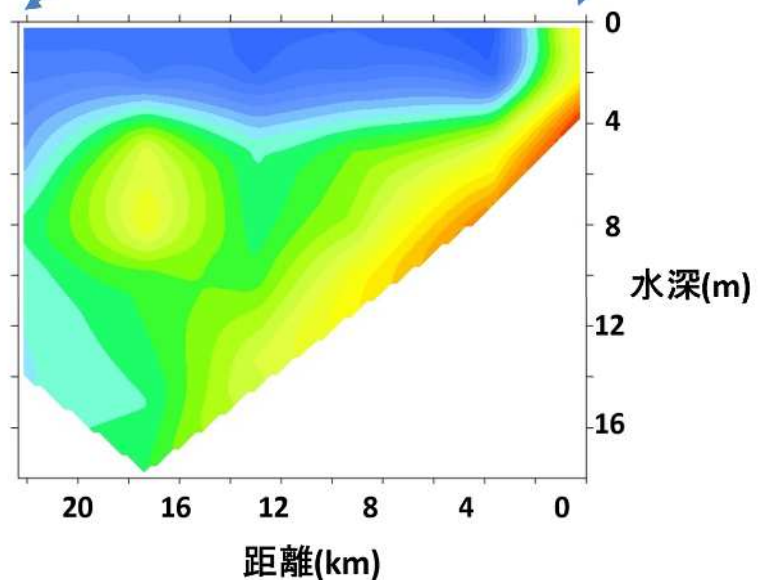
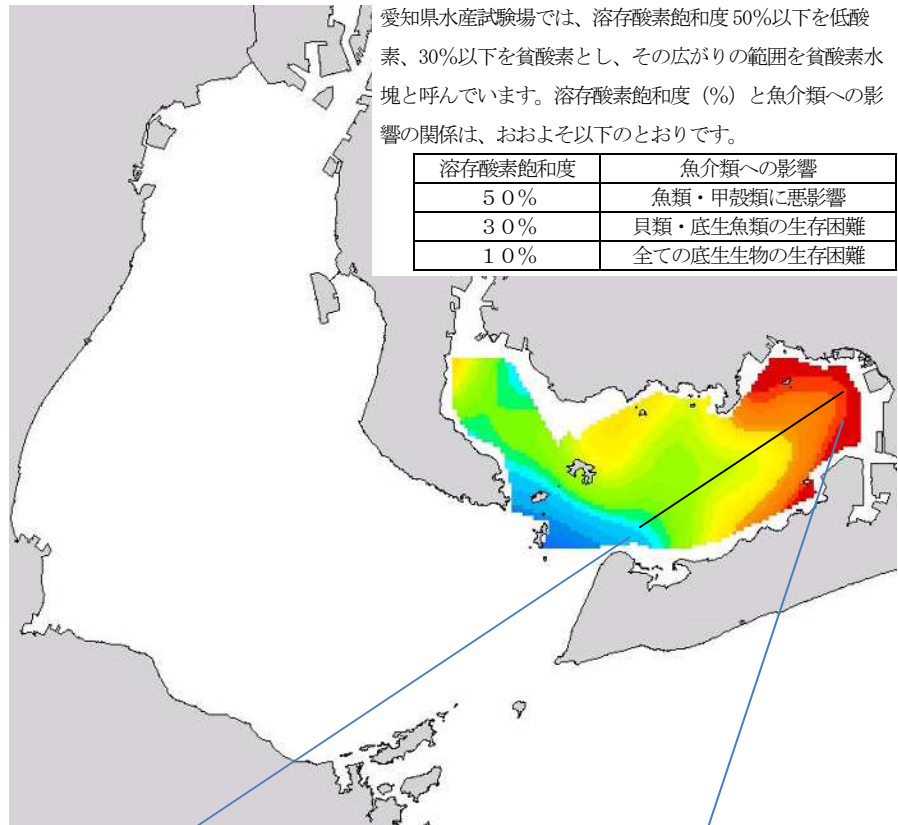


図1 三河湾 (9月26日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

9月26日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部で貧酸素水塊が確認されました。9月17, 18日調査(図2)と比べると溶存酸素飽和度30%以下の範囲は縮小していました。今後は降雨が続く予報となっており、塩分躍層が発達する一方で、水温低下の影響を受けることから、貧酸素化は緩やかに進行すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)		塩分	
表層	26.9	~ 28.3	25.4	~ 29.5
底層	22.4	~ 27.2	30.0	~ 33.5

### 参考

前回調査時の三河湾底層の溶存酸素状況

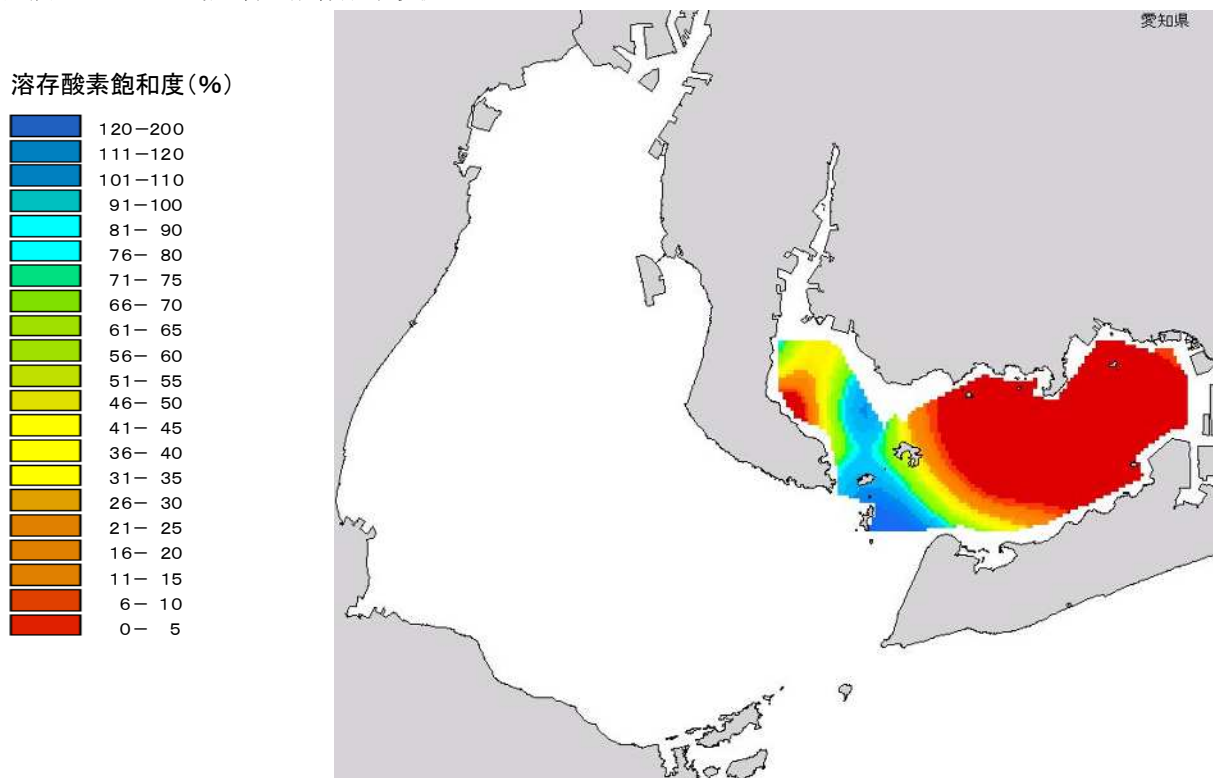


図2 令和6年9月17, 18日(伊勢湾)